

学校の概要	学校名	茅野市立金沢小学校	学校長	三澤 ゆり	児童生徒数	109 名
「地域と共にある学校づくり」へ向けた仕組について						
学校運営に必要な支援に係る協議の場				ボランティアの組織化(地域学校協働本部)について		
運営委員会(信州型コミュニティスクール)	<input type="radio"/>	会議の委員構成		<input type="radio"/>	ボランティアのリストがある	
		市町村教委	自治会代表	<input type="radio"/>	ボランティアの団体がある(組織化されている)	
学校運営協議会(コミュニティ・スクール)	<input type="radio"/>	公民館代表	PTA代表	<input type="radio"/>	ボランティアと学校の情報交換会がある	
		地域コーディネーターや地域学校協働活動推進員	学校長・教頭以外の学校職員	<input type="radio"/>	ボランティアの方を対象とした研修会がある	
名称	金沢小学校コミュニティスクール運営協議会		[その他の委員]※具体的な役職名を記入 金沢地区体育協会会長 教育委員 民生主任児童委員 区長会長		学校を支援する様々な団体や地域との連携調整を行うコーディネーター等が地域にいるか(それぞれの人数を記入)	地域コーディネーター 1 人 地域学校協働活動推進員(教育委員会の委嘱を受けた者) 1 人
会議開催数	5 回	今年度開催日	4月15日 8月31日(中止) 6月8日 12月14日(予定) 2月22日(予定)	中心的なコーディネーター(どちらかに○) 中心的なコーディネーターの立場(リストより選択)	地域コーディネーター 地域学校協働活動推進員	地域住民
運営委員会や学校運営協議会を学校評議員会と兼ねている				<input type="radio"/>	具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入)	前金沢地区運営協議会会長
運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況						
学校教育目標	深く豊かな心を持ち、自らやり向く子ども 重点目標 歌声の響く学校					
地域と共有された育てたい子どもの姿	1 自分を表現し、相手を思い、ともに高め合う子ども 2 自ら探求し、やり抜く子ども 3 金沢の良さを実感し、大切に、自らも地域に貢献し、地域に心を寄せる子ども					
運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度)				地域と協働した活動状況		
1	上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について	<input type="radio"/>	1	学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」が共有されている。	<input type="radio"/>	
2	学校運営への必要な支援について	<input type="radio"/>				
3	地域の実情や課題について	<input type="radio"/>	2	地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有できている。	<input type="radio"/>	
4	子どもにどんな地域貢献ができるかについて	<input type="radio"/>	3	ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。(専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可)		
5	教職員の任用に関する一般的な要望について		4	協働活動に参加したボランティアの人数	ボランティア登録者人数 20 人 参加者延べ人数 30 人	
地域学校協働活動の概要	登下校の見守り <input type="radio"/>	読み聞かせ <input type="radio"/>	児童会、生徒会	クラブ、部活動 <input type="radio"/>	給食	休み時間
	清掃	ICT	学習ボランティア <input type="radio"/>	総合的な学習の時間支援 <input type="radio"/>	コロナウイルス対策の消毒・清掃	放課後教科・体験学習
	土日・長期休業教科・体験学習	地域の伝統文化の継承に係る活動 <input type="radio"/>	子ども食堂(こどもカフェ)との連携	避難訓練	防災学習	キャリア教育(職場体験を含む)
	 1年生 七夕飾り作り		 5年生 稲作		 6年生 縄文・市民科	
代表的な協働した活動の取組例 (上の写真の3つの取り組みの中から1つの活動を選択し、活動の内容を教えてください)						
○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)						
<ul style="list-style-type: none"> ・6年生縄文科の学習で、川でつった魚の調理を支援していただいた。魚のさばき方、火おこしのやり方などについてもご指導いただき、いにしえの人々の暮らしにも思いを寄せることができた。 ・コロナ禍の厳しい状況のあいまを縫って、授業支援を中心に積極的に支援を進めていただいた。学校生活において様々な活動に制約がかかる中支援をしていただいたことで、教職員のボランティアの皆様との連携に対する感謝の気持ちなどが高まってきている。特に総合的な学習の時間や生活科の時間の活動などにおいて、地域とのつながりを大切に位置付けた学習も進められるようになってきている。 						
育てたい子どもの姿を具現化するための学校・家庭・地域の連携・協働を推進する上での課題 (運営上の課題を記入 例 人材確保について、打ち合わせや会議について等)						
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化や地域の高齢化が顕著に進む中、ボランティア活動などに協力していただける人材を増やしていったり、確保していったりするにはどのようにしたらよいか。 						